

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和6年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月))

施設名	五日市センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	令和5年4月1日から 令和10年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	265	267	100.8%	
	延べ利用者数 (人)	2,000	2,063	103.2%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	243	242	99.6%
		自主事業 (回)	500	619	123.8%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	15,498,000	15,498,000	100%
		利用料金収入(売上) (円)	1,700,000	1,753,550	103.2%
		自主事業収入 (円)	2,850,000	3,692,580	129.6%
		その他の収入 (円)	-	-	-%
	収入計 (円) …①		20,048,000	20,944,130	104.5%
	支出	人件費 (円)	11,538,000	12,932,893	112.1%
		維持管理経費 (円)	5,660,000	6,088,637	107.6%
		自主事業関係経費 (円)	1,323,000	1,714,662	129.6%
		その他の支出 (円)	-	-	-%
	支出計 (円) …②		18,521,000	20,736,192	112.0%
	収支 (①-②) (円) …③		1,527,000	207,938	13.6%
	諸経費 (本社運営費など) …④		-	-	-%
総収支 (③-④) (円)		1,527,000	207,938	13.6%	

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b>                  開館日数は、計画どおり開館しました。利用人数について年間計画値と比較すると、必須事業は約103%、自主事業は約124%でした。今後も利用人数の増加に努めます。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b>                  必須事業については、介護予防体操、脳トレに力を入れ、健康寿命への認知度を高めました。                  自主事業については、人気講座の開講日を増やし、開講日が祝日と重なった場合には振替日を設けることで、利用者満足度の向上に努めました。</p>	<p><b>【収支状況について】</b>                  収支については、必須事業による利用料金収入は約103%、自主事業は約130%で上向きですが、支出計増加のため、年間計画値には満たなかったです。収支の適正化に努めます。</p>
--	--	---

### 所管課の評価 (指摘事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b>                  計画どおり開館を行えています。おおむね計画値どおりの利用者数となりました。前年度比では利用者数の増加が図られている点は評価できます。                  引き続き、安全かつ適正なセンター運営に努め、利用者数の増加につながる事業に取り組んでください。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b>                  必須事業では健康寿命の向上に重点を置き、取り組んでいます。                  自主事業については、年間計画値を超える事業回数を実施しており、利用者のニーズを捉えた事業内容での運用も図れています。                  引き続き、利用者が生きがいを感じられるよう、ニーズに応えた事業に取り組んでください。</p>	<p><b>【収支状況について】</b>                  支出では物価高騰の影響があり、年間計画値を超えましたが、収入については年間計画値以上の数値となった点は評価できます。                  引き続き、利用者が生きがいを感じられるよう、ニーズに応えた事業に取り組んでください。</p>
--	--	--

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人 人員配置計画、実地、出勤簿	5人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年 研修マニュアル	実施回数12回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	100% 人員配置計画	100% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

#### 指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

必須事業では3センター合同行事を行い、利用者同士のコミュニケーションを図りました。今年度はあきる台グループホームの利用者、他の講座の利用者も参加し、琉球舞踊、日本舞踊、マジック、ギター、オカリナ演奏などを楽しんでいただきました。近隣の方もお誘いし、賑やかな会になりました。計135人の方が参加し、センターの周知にもつながりました。利用人数は前年度と比較すると、増加傾向にありますが、介護保険への移行による退所もありました。更なる広報活動に取り組み、利用者数の増加に努めます。

自主事業では、利用者からの要望で、振替で講座を開講しました。新講座の健康講座では、胃や腸のお話をしました。なかなか聞けない話なので、勉強になったと仰っていました。健康講座は次年度にも継続して6回実施予定です。ペン習字、ピアノの脳トレ、足つぼマッサージも新規開講しました。どの講座も居心地の良い空間作りを心掛け、また来たいと思っていただけるよう声掛けしました。

両事業とも、市民の皆様に寄り添ったセンター作りを常に職員間で話し合い、情報を共有し、安全対策を含めた、サービス向上に努めました。今後も、地域の交流場となるセンターの運営を心掛けたいと思います。

#### 所管課による所見（指摘事項など）

必須事業、自主事業ともに地域包括支援センターだけでなく、地域団体を通じた事業を行うことで、利用者がその地域で過ごしやすい環境整備が図られています。また、3センター合同の事業や新講座の導入、振替での講座実施など利用者のニーズを適切に把握し、事業運営が行われていると考えられます。自主事業のスマホ教室では高校生との多世代交流を図るといことで今後の展開が期待されることです。

引き続き、利用者の声に耳を傾け、安心安全で利用しやすい環境を作り、身近に感じるセンター運営を心掛けてください。